



波紋

創刊 1985年(昭和60年)

2024年3月
No.465号

PVC Award
2023
Ceremony

森松より2点
入賞しました!!



「キャップモタナ〜い」製造部：橋野徳明
PVCを切るだけでペットボトルとキャップを繋ぎ、キャップを持つ煩わしさを軽減した作品



「Bloom lampshade series(ブルームランプシェードシリーズ)」
企画営業部：牧野光昌 × 有限会社アスポ 雨宮史郎様
PVCプリズムシートの拡散効果があり、軽量且つ安全性が高い作品



後列左二人目：森(橋野代理) 前列左一人目：牧野

ものづくり企業として

森 直樹 (代表取締役社長)

少しずつ陽が長くなり、春が近づくのを感じる時期となりました。先日、東京にて「PVC アワード2024」の表彰式が行われました。森松からは(有)アスポ様と牧野さんの「ブルームランプシェード」橋野さんの「キャップモタナ〜い」がそれぞれ入賞しました。アワードでの入賞は2021年の前回に引き続いてですが、今後も塩ビ業界の活性化に貢献出来るような商品の企画・製造に取り組んでいきます。4月9日~11日には名古屋駅のウインク愛知にて、受賞作品の展示も行われますのでこれも楽しみです。森松の仕事として、大半を占めるのが受託製造で生産依頼を受けた商品、仕様或いはデザインのほぼ確定した製品に対してその素材や加工方法について提案するという形式があります。では反面、自社企画・開発の商品はというとまだまだごくわずかです。既存のこの受託製造と自社企画、自社発信の商品を生み出していける体制があることで、ものづくり企業としてもう一段階レベルが上がります。そのためには我々の発想や視点もさらに広く展開していくことも求められるでしょう。一朝一夕で成せることではありません、着実に取り組んでいきます。



朝散歩

安井 浩二（企画営業部）



今年から朝散歩をしています。きっかけは昨年読んだ「ストレスフリー超大全集」で著者である精神科医がおすすめ最高のモーニングルーティンとして紹介されていました。若いころと違い、休日でも早く目が覚め寝坊もできず、なんとなくボーとしていることが多いことから朝散歩に興味を持っていました。元旦の朝、いつも通り目が覚めTV番組では、もうすぐ初日の出と中継されており、せっかくだから外へ出て見てみようと思ってきました。天気も良く輝く朝日は眩しくきれいでした。「一年の計は元旦にあり」と思いそこで今年は朝散歩を試みようと思決めました。とはいえ平日は厳しいので休日のみ実行しております。では、朝散歩の効果とは？「セロトニンの活性化」セロトニンは脳内の神経伝達物質のひとつで精神を安定させ、脳を活性化したりする効果があります。朝日を浴び、リズムよく体を動かすことでセロトニンが活性化するそうです。「ビタミンDが生成される」ビタミンDは、免疫力の向上や骨を強く育てるのにとっても重要な栄養素。ビタミンDが不足した状態が続くと、骨粗鬆症などの病気になったりする恐れがあります。1日15～30分、紫外線を浴びることで1日に必要なビタミンDが生成されるといわれています。「体内時計のリセット」人間には体内時計があり、平均24時間10分前後といわれています。体内時計をリセットしないと、毎日10分ずつ寝つきの時間が遅くなり、昼夜逆転生活となってしまいます。体内時計をリセットするには、太陽の光（2500ルクス以上）を5分浴びるのが効果的ということでした。散歩の方法は、朝起きてから1時間以内に15～30分をリズムよく歩きます。それだけで、セロトニンが活性化し、体内時計がリセットされ、「副交感神経」から「交感神経」への切り替えがうまくいき、自律神経が整えられます。また、毎日するのがベストですが、週1～2回でも、やっただけ効果があるそうです。朝の散歩は身体にいいだけでなく精神面にもいい影響があり最高のモーニングルーティンということですね。毎週、休日には近くの川沿いを散歩しています。高齢者も含め結構みなさん歩いていますね。ジョギングとは違い苦もなく晴れやかな気分になります。まだ初めて2か月弱ですが、今後も四季を感じながら習慣にしてゆきたいと思っています。

ゴジラ

吉岡 孝記（営業部）



2024年アカデミー賞に日本映画が3点ノミネートされました、1作品目が「PERFECT DAYS」で国際長編映画賞、2作品目が「ゴジラ-1.0」が視覚効果賞、3作品目が、「君たちはどう生きるか」長編アニメーション賞です。近年アカデミー賞に日本作品が少しずつですがノミネートされてきたと感じます。今回この中の1作品「ゴジラ-1.0」を見てまいりました。

日本で11月3日に公開され、12月21日までに観客動員293万人、興行収入45.1億円を突破し、北米では12月19日時点で興行収入3605万ドルを突破したそうで、すでに北米で公開された歴代邦画実写版の興行収入で1位を獲得したそうです。ストーリーとしては戦後日本の復興さなかゴジラが出現、町を破壊、ゴジラを倒すため陸海空の元軍人が力を合わせてゴジラを倒す話です。迫力、臨場感、音響効果が素晴らしく感じました。昔、私が子供のころ見たゴジラ映画は悪い怪獣をやっつけるいい怪獣で、コミカルな動きもあり、楽しく見ていました。最近のゴジラは破壊怪獣と言う感じですが、ゴジラはもともと、深海で生き延びていた約1億4000万年前の恐竜だったが、度重なる水爆実験により眠りから覚め、水爆エネルギーを充満させた巨大怪獣となって人類に襲い掛かるという設定です。米ソ冷戦時代の核実験核開発を背景に作られたとも言えます。また、世相を反映した公害問題や環境問題、反核を意識した映画とも言えます。今回の視覚効果賞とはすなわち視覚効果（VFX）を使った映画で「特殊効果賞」として設けられたのが最初だそうです。過去の有名な映画は「スターウォーズ」「タイタニック」「アバター」などが有名ですが、これらの作品にも引けを取らない、日本映画もここまで来たかと感じました。国際的に有名な日本映画はやはり黒澤明監督作品がよく取り上げられますが、最近の監督も素晴らしい方がたくさんいます。日本独自の視点で作られた映画が、いつか作品賞をとれるよう期待します。賞を受賞するといいですね、期待しています。ちなみに3月11日が授賞式です。

昭和から令和へ

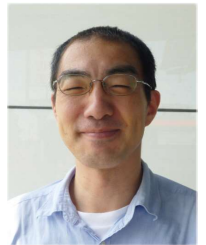
大石 耕平（東京オフィス）



最近「昭和」がバカにされすぎ。「昭和（笑）」とオチに使われるのをよく見かける。妻には「あなたみたいな昭和の働き方はできません」と笑われた。「昭和はこんなものじゃないぞー!」とやりすぎしたが、私は昭和を知らない。私が働き出したのは平成で、昭和は私が小学校1年生のときに終わっていた。いや妻だって昭和を知らないはずだが、そこはそっとしておこう。1月から「不適切にもほどがある!」というTBSドラマが放送されているが、まさしく昭和の色濃い部分を面白おかしく描いていて懐かしく思う。「昭和」はいつからこんな扱いをされる存在になったのだろう。昭和は「あの頃は良かったね」といわれる憧憬の対象だったはず。昭和への郷愁を感じさせる映画「ALWAYS 三丁目の夕日」は大ヒットした（観たことないけど）。私はたぶん、昭和の働き方にどっぷり浸かっていた世代と、直接十分な時間を一緒に働いた経験をもつ最後の世代だと思う。新人時代の先輩は昭和から平成を現役バリバリで生き抜いた人たちで、アポ無し突撃、飛び込み名刺配り、接待攻勢、深夜残業、1日2箱の付き合い煙草、朝まで飲みにケーション等々。当時の先輩には昭和の営業手法を徹底的に仕込まれた。再現性もなく、効率性も考慮しない方法論だったが、新人なので従った。しかし時代は令和になっており昭和の働き方は限界で、減少する仕事と多様化するニーズ、外資の進出に有効な手を打てなかった。昭和のいいときは受注が絶えない時代で、仕事のクオリティが伴わなくても結果が出ていたのではないかとも思う。結果オッケーとされて、仕事内容と受注の因果関係の検証はなされなかったはずだ。お客様は神様。年功序列で流動性の欠けた組織がひとつとなって無理、無駄、矛盾、強引に脇目もふらず顧みず突き進んでいく。そんな昭和の働き方が今の世の中の変化に対応できるわけがない。でもそんな昭和の働き方が沁みついていたことが功を奏したことも多々あった。だから「昭和の働き方〜」「昭和ヤバ〜」と世の中が昭和を嘲笑っているのを見ると、複雑な気分になる。いまの令和からみれば昭和は確かにダメだった。昭和は忌まわしき過去、嘲笑の的だ。それでもいい。でも忘れないでほしい。ダメな昭和があったから今があるということ。歴史は繰り返すものだから、令和を生きる若者たちもいつか「令和www」と笑われる日がくる。特大ブーメランにならないことを祈るばかりだ。先輩がいなくなって6年。女性に優しく、部下に厳しく、言い方はキツく、ゴルフが上手く、酒に強い破天荒な人物だった。今は感謝している。昭和の働き方を叩き込み、9割のダメと1割のマシを心身に刷り込んでくれた。昭和の滅茶苦茶な働き方はストレスも半端なかったと推察する。好景気という祭りの代償は高くついた。私は生まれつきの天邪鬼が爆裂していて、先輩へ素直に「ありがとうございました」と言えなかった。だから今しばらくは「昭和はこんなもんじゃねーぞー」と言い続けたい。まあ昭和しらんけど…。

京都観光

松井 宣和（製造部）



小学校時代の友達から「今度ラーメンでも食べに行かないか?」とLINEで誘いがあり、了解と返事する。土曜日に友達の家集合、車で朝9時30分に出発。高額ラーメンになりそう。名神高速道路京都東インターを下車し、そこから30分ほどで店舗付近に到着。近くのパーキングに車を駐車し、11時から並び始める。店舗名「極〇」ラーメンなのに、なぜかカルボナーラ風ラーメンが出てくる。見た目判断して友達に「美味しいのこれ?」と囁く私はダメでしたが、店の中はお客さんでほぼ満席でした。次は普通のラーメンでお願い。ラーメンを食べ終え京都観光へ。金閣寺・清水寺・伏見稲荷・二条城・平安神宮・嵐山・祇園などの観光スポットがありますが、私がリクエストしたのは清水寺です。京都市内の駐車場を予約してあるということなのでそこへ向かう。1日の駐車場で2000円。高いと思ったが、他のパーキングよりは安いそう。駐車場に着き清水寺までの距離をナビで計測。片道1.5キロ。ここからまさかの徒歩。バスは? 歩いたほうが早い…。私は、始めて清水寺に行きましたが広いんですね。山の斜面にあって清水の舞台に仁王門・三重塔など境内を巡り八坂の塔に八坂神社まで足を運びました。観光客が多く、外国人7割・修学旅行生2割ぐらい。普通に歩けなかったです。時刻は2時、次は友達もまだ行ったことがないという伏見稲荷へ。予備知識もなく向かいましたが、無料駐車場があり結構な広さでした。（もしかして24時間営業?）千本鳥居の目の前にし、最初はよくテレビで見るところでテンション上がったが、見慣れてくるとどうでもよくなる。これが延々と続く。山の中に所々にいる神様も正直もういい。休憩を2回はさみ2時間ぐらい歩いた。疲れた。後で調べてみたら、ひと回り約4キロあるそう。10キロ近く歩いたことになる。お腹が空いた。スタミナを補充するために京都市内にあるミスター・ギョーザに行くこと。店内に入ると誰のかわからないサイン色紙がいっぱい。餃子は薄皮で中の餡がしっかりと味もいい。中ライスに餃子2人前×2セットと、から揚げとピリ辛キュウリを食べてきました。ここは大満足。

ひな祭りってどんぶりなの？

◎ひな祭りの由来とひな人形の意味

ひな祭りとは、女の子の健やかな成長と健康を願う、3月3日の「桃の節句」の行事です。古代中国の「川で身を清めて邪気を払う上巳（じょうし・じょうみ）節」が日本に伝わり、日本古来の「人形（ひとがた）流し」という厄払いの風習と結びつき、さらにそれが平安時代の貴族のおまごどである「ひいな遊び」と組み合わせ、徐々に現在の形になったといわれている。

ひな人形を飾る意味のひとつは、その家に生まれた女の子に対して「よい人に出会えますように」「よい結婚ができますように」という願いを込めるためです。ひな人形は天皇陛下と皇后陛下の結婚式をモチーフにデザインされているそうです。ひな人形を飾るもうひとつの意味は、その家に生まれた女の子のことを守ってもらうためです。衛生面や医学の発達が現在と比べると劣っていた昔は、子供が健やかに育つのが難しい時代だった為、厄払い的な意味もあるそうです。

◎ひな祭りでよく食べられるもの

☆菱餅・・・緑、白、赤（桃）の3色には意味があります。所説ありますが、緑は「厄除け・健康」白は「子孫繁栄・長寿」赤（桃）は「魔除け」という意味が込められています。☆ひなあられ・・・ひし餅と同じく緑、白、桃色の3色で作られています。

意味も菱餅同様ですが4色バージョンもあるそうです。黄色が加わり、4色で四季を表すそうです。☆ちらし寿司・・・こちらはお祝い事などの定番の食べ物です。具材にも、長生きや仕事がうまく行くようになど地域によって様々あるそうです。好みの具材で作ってみるのもいいかもしれませんね。

いかがでしたでしたか？

何気なく過ごしてる行い事も意味が分かったと普段と違った楽しみ方も出てきますね！

猫

久末 菜摘（森松産業）



去年の3月に我が家に猫を迎えました。ペットショップで見たときに一目惚れしました。初めて抱っこした時、全く嫌がらず大人しい猫で、家族みんなが気に入り飼うことになりました。家に来たら警戒してソファの下から出てこず大変でしたが、家に慣れてきたら甘えん坊でゴロゴロと喉を鳴らし膝に乗ってきたり、おもちゃを近くに持ってきて遊んでほしいとアピールしてきてくれたりと、その姿にいつも癒やされています。ですが猫はマイペースで自由奔放な性格で、猫をなでようと近づくと離れていってしまい、歩き出すと後からついて来たり、甘えてくるのに次の瞬間、知らんぷり。そんな猫のツンデレで自由気ままな性格にいつも翻弄されています。猫を人生で初めて飼うので、分からない事ばかりで沢山勉強しました。その中で猫はなぜゴロゴロと喉を鳴らすのか不思議に思い調べてみると、機嫌がいいとき・嬉しいとき・楽しいとき・リラックスしている・飼い主に何か要求している・母猫と子猫のコミュニケーション・ストレスを感じているなど沢山の意味がありました。

他にも不思議な効果があり、猫が喉をゴロゴロと鳴らす音は、人間が癒しを感じる25Hzの低周波で、幸せホルモン（セロトニン）を分泌させてくれたり、骨折の治りを早める効果があることでも注目されています。サッカーのベッカム選手や野球の松井秀喜選手が、この周波数を実際の治療に使って、驚異的な回復を見せた逸話もあるほどです。ポジティブな思考や幸福感を私たちの脳に伝えてくれる周波数とも一致するので、ストレスをなだめる強い効果があり、免疫力を上げるという「副作用のない薬」とまで言われる効果があるそうです。猫のゴロゴロという音が、人間にとって癒し効果があるなんてびっくりでした。みなさんも心も体も疲れたときには是非猫の動画や猫カフェに行き癒やされてみてください。

